



Since 1873

# やよい

弥富市立弥生小学校

教育目標（こんな子になろう）

やさしい子

よく考える子

いのちを大切にする子

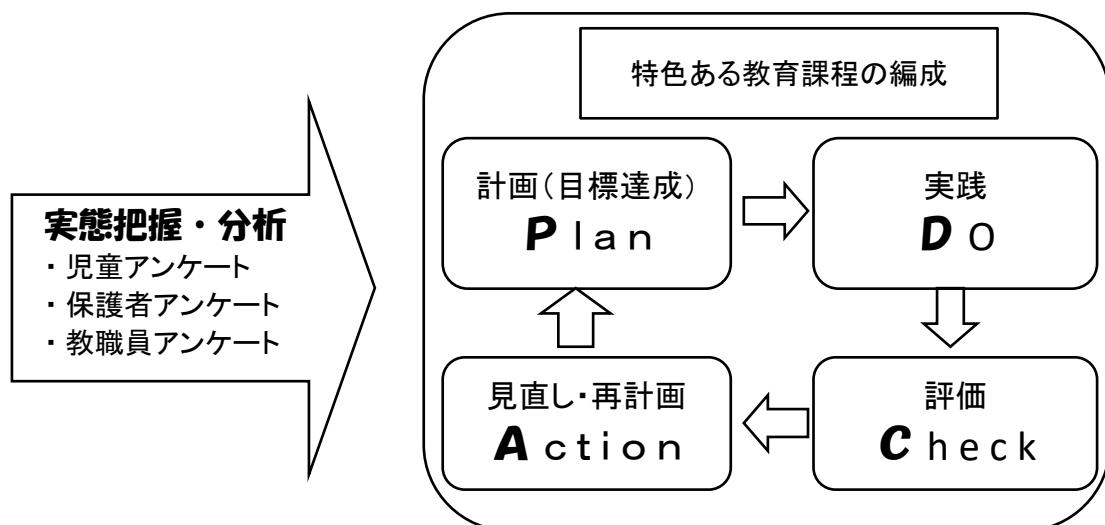
学校だより 特別号

## ＜令和7年度学校評価の結果＞

### ◎ 学校評価の目的

教職員、保護者、児童に広くアンケートを行い、達成状況や、教育活動を適切に評価し、Plan・Do・Check・Action サイクルを繰り返しながら組織的かつ継続的な改善に努めることを目的としています。

※評価のPlan・Do・Check・Action モデル



### ○学校評価(児童・保護者・教職員アンケート)の回答数

- ・ 教職員 38 名
- ・ 保護者 336 名
- ・ 児童 410 名

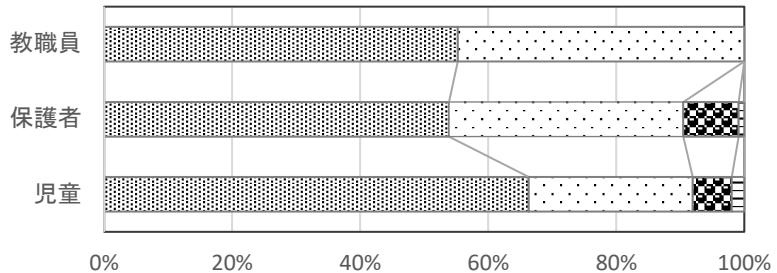
### ○学校評価(教職員・保護者・児童アンケート)の分析

20の設問について、各設問ごとに、教職員・保護者・児童の順にグラフで並べました。そして、三者の評価を比較しながら、問題ととらえられる部分について、分析・考察しました。

※グラフの凡例

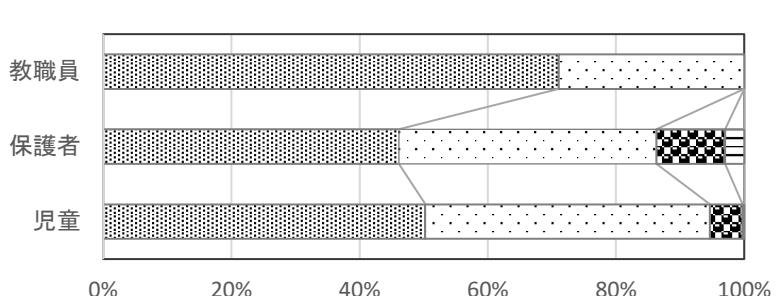
〔 〕 そう思う 〔 〕 やや思う 〔 〕 あまり思わない 〔 〕 そう思わない

### 設問1 楽しく学校に通っている。



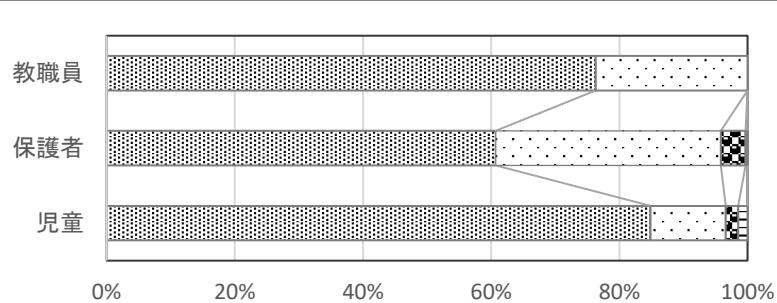
児童・保護者・教職員の三者ともに、肯定的な回答が多く、子どもたちが楽しく学校生活を送っている様子がうかがえます。日々の学習や行事、友だちとの関わりの中で、安心感や達成感を感じながら過ごしていることが、前向きな気持ちにつながっていると考えます。今後も、ウェルビーイングを大切にした教育活動を継続し、子どもたち一人一人が「明日も学校に行きたい」と感じられる学校づくりを進めてまいります。

### 設問2 学校のきまりや時間をまもって、生活している。



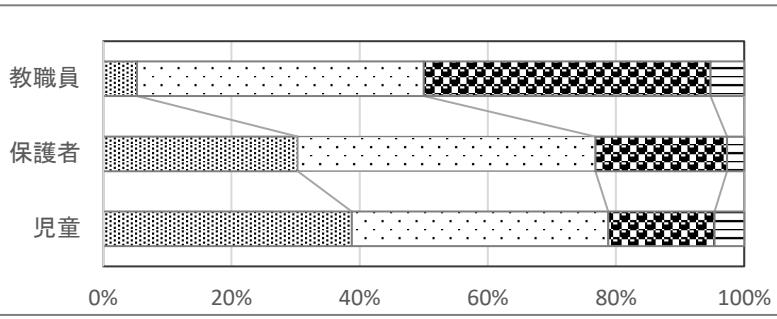
児童・保護者・教職員の三者ともに肯定的な回答が多く、学校のきまりや時間を意識して生活しようとする児童の姿がうかがえます。日々の学校生活や異学年交流の中で、互いに声をかけ合いながら行動する経験を重ねることで、子どもたちの自律性や責任感が育ってきていると考えます。今後も、子どもたち一人一人の強みを生かしながら、主体的に行動できる力を伸ばしていきます。

### 設問3 友だちと仲良く生活している。



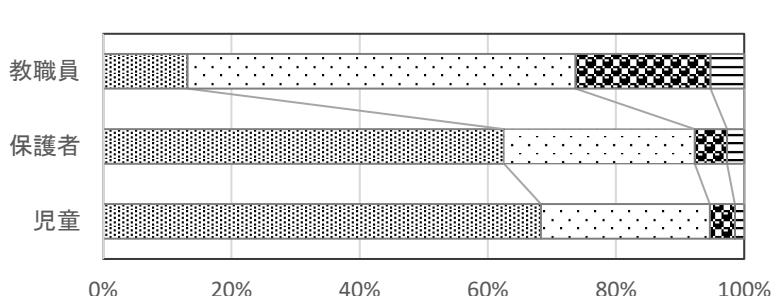
児童・保護者・教職員の三者ともに肯定的な回答が多く、友だちと関わりながら学校生活を送ることができている様子がうかがえます。異学年交流や日々の学級活動を通して、互いのよさや強みに気付き、認め合う経験が、人間関係づくりにつながっていると考えます。今後も、相手を思いやる言葉や行動を大切にし、安心して過ごせる学校づくりを進めてまいります。

### 設問4 あいさつをよくする。



児童や保護者からは肯定的な回答が多く、日常の中でのあいさつが定着している様子がうかがえます。一方で、教職員の中には、より丁寧で思いのこもったあいさつを目指したいという思いから、課題を感じている声も見られます。今後は、異学年交流や日々の関わりを通して、教職員が率先して声をかけ、子どもたち一人一人の強みを認め合える、温かなあいさつのある学校づくりを進めてまいります。

### 設問5 交通法規を守り、通学団で登下校している。

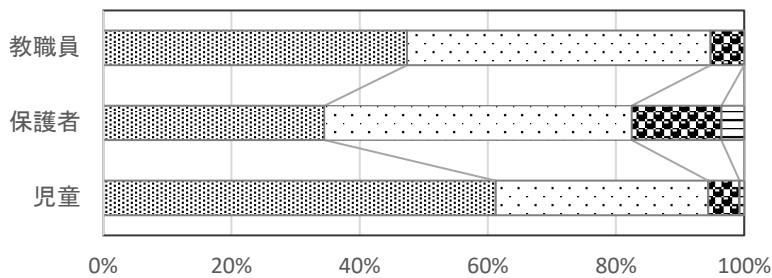


児童・保護者・教職員の三者ともに肯定的な回答が多く、交通法規を意識し、通学団で安全に登下校しようとする児童の姿がうかがえます。日々の指導に加え、保護者や地域の皆様による見守りや声かけが、子どもたちの安心感と安全意識の向上につながっていると考えます。今後も連携を大切にし、安全な登下校を支えてまいります。

※グラフの凡例

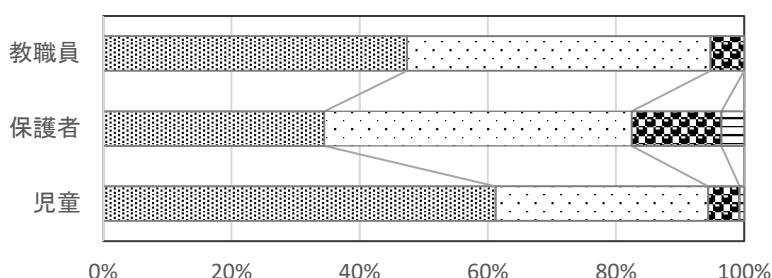
 そう思う  やや思う  あまり思わない  そう思わない

設問6 学校は清掃が行き届き、きれいである。



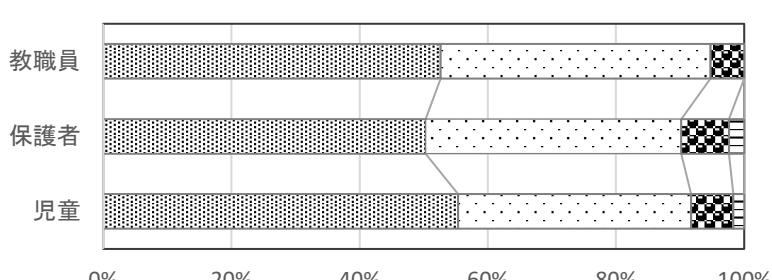
児童・保護者・教職員の三者ともに肯定的な回答が多く、学校環境が日常的にきれいに保たれている様子がうかがえます。日々の清掃活動を通して、子どもたちは自分たちの学校を大切にしようとする気持ちを育んでいます。こうした積み重ねが、責任感や公共心といった子どもたちの強みを伸ばしていると考えます。今後も、気持ちよく過ごせる学校環境づくりを進めてまいります。

設問7 学校は安心して過ごせる環境になっている。



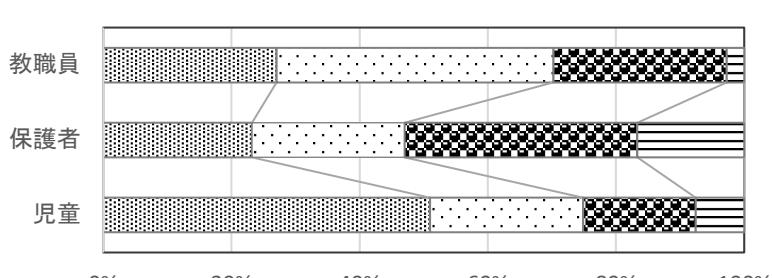
児童・保護者・教職員の三者から肯定的な回答が多く、子どもたちが安心して学校生活を送っている様子がうかがえます。日頃から担任を中心とした見守りや声かけに加え、スクールカウンセラーと連携した相談体制を整えることで、児童の不安や悩みに早期に対応できるよう努めています。今後も、関係職員が連携し、安心して過ごせる学校づくりを進めてまいります。

設問8 学校行事は、子どもたちにとって楽しく充実している。



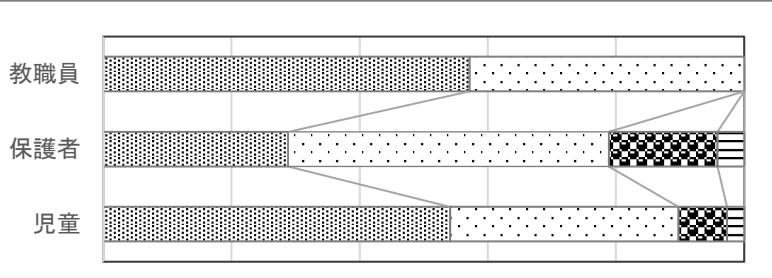
児童・保護者・教職員の三者から肯定的な回答が多く、学校行事が子どもたちにとって楽しく、充実したものとなっている様子がうかがえます。今年度は、異学年交流を軸とした新しい形の運動会「やよいきずなフェス」を実施し、学年を越えた関わりや一体感を大切にした行事づくりを進めてきました。こうした取組が、行事への満足感や前向きな声につながっていると考えます。

設問9 読書が好きで、よく本を読んでいる。



児童・保護者・教職員の回答から、読書に親しんでいる児童が多い一方で、読書習慣には個人差があることがうかがえます。学校では、朝の読書や絵本の読み聞かせ、図書の時間などを通じて、本に触れる機会を大切にしてきました。今後も、子どもたちが本の楽しさを感じ、自分のペースで読書に親しめるよう、環境づくりや声かけを続けてまいります。

設問10 授業は、楽しく、わかりやすい。

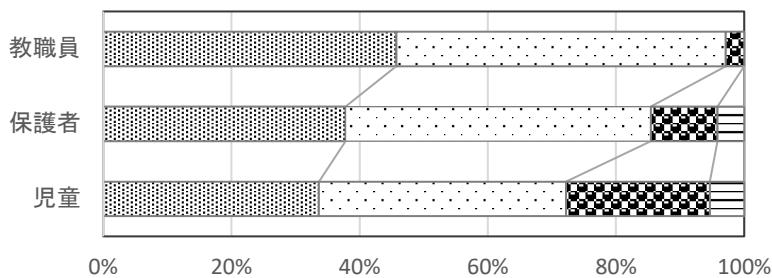


児童・保護者・教職員の三者から肯定的な回答が多く、授業が楽しく、分かりやすいものとして受け止められている様子がうかがえます。学校では、個別最適な学びや協働的な学びを大切にしながら、子どもたちが主体的に学べる授業づくりに取り組んできました。今後も校内研修を通して授業力の向上を図り、学ぶ喜びを実感できる授業づくりを進めてまいります。

※グラフの凡例

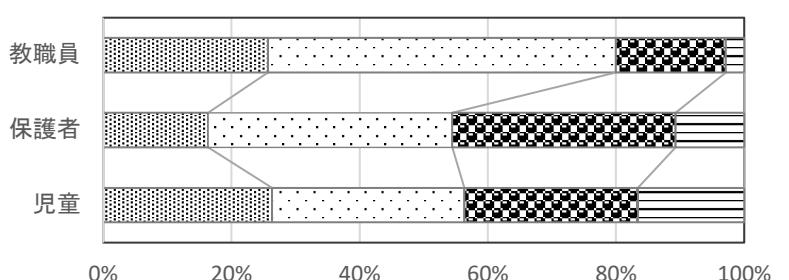
 そう思う  やや思う  あまり思わない  そう思わない

設問11 勉強でわからないところは、わかるまで教えてもらう。



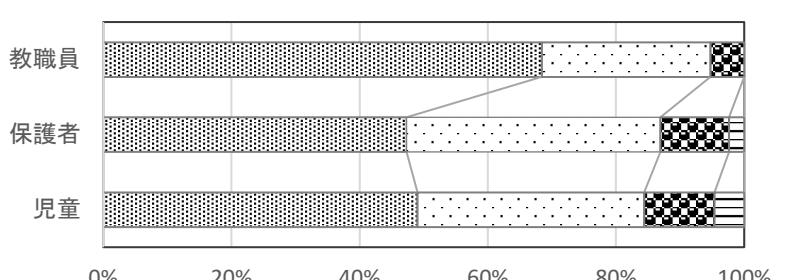
児童・保護者・教職員の回答から、分からぬところを解決しながら学んでいる児童が多い一方で、「分からぬ」と感じたときに、十分に質問できていない児童がいることも分かります。学校では、学び直しの時間を確保したり、友だち同士で考えを伝え合ったりする学習を大切にしてきました。今後も、一人一人の理解の状況に寄り添い、分かるまで学べる授業づくりを進めてまいります。

設問12 家庭でも進んで勉強する習慣が身についている。



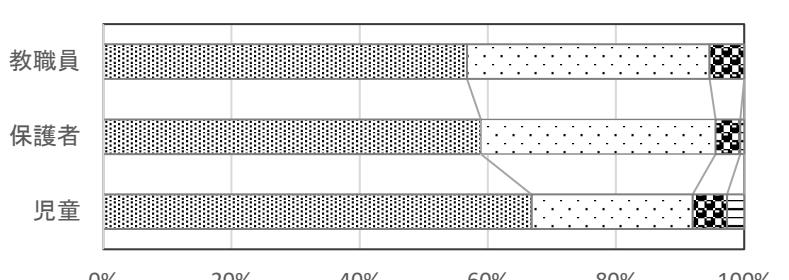
児童・保護者・教職員の回答から、家庭でも学習に取り組んでいる児童がいる一方で、学習習慣の定着には差があることが分かります。学校では、授業で学んだことを家庭で振り返ることの大切さを伝えてきました。今後も、家庭と連携しながら、無理のない形で学習に向かう習慣が身につくよう、継続した支援を進めてまいります。

設問13 先生は、よくほめ、はげましてくれる。



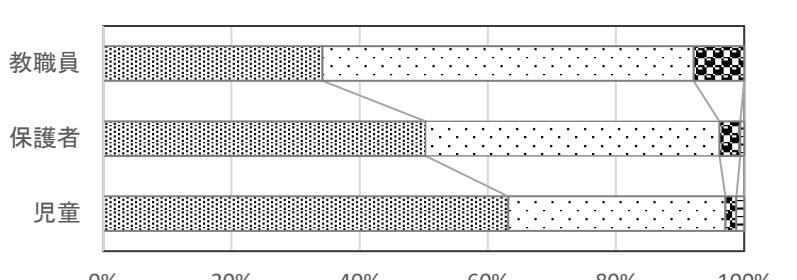
児童・保護者・教職員の三者から肯定的な回答が多く、日々の学校生活の中で、教師の励ましや声かけが子どもたちに届いている様子がうかがえます。先生に認められ、応援される経験が、子どもたちの自信や前向きに取り組もうとする気持ちにつながっていると考えます。今後も、子どもたち一人一人の努力や成長を大切にした関わりを続けてまいります。

設問14 先生は、けがや病気に対して、適切に対応してくれる。



児童・保護者・教職員の三者から肯定的な回答が多く、けがや体調不良への対応について、安心感をもって受け止められている様子がうかがえます。学校では、担任をはじめ養護教諭や関係職員が連携し、児童の状況に応じた対応に努めてきました。今後も、日頃からの健康管理や情報共有を大切にし、安全・安心な学校生活を支えてまいります。

設問15 まわりの人を大切にして生活を送っている。

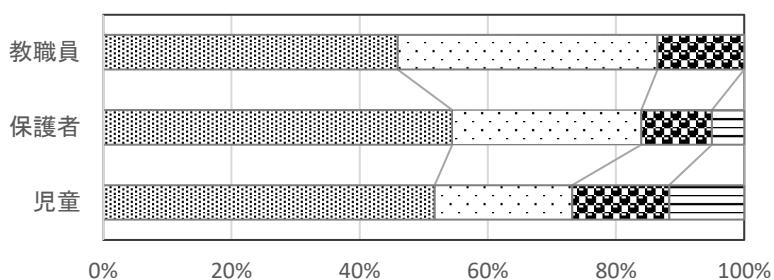


児童・保護者・教職員の回答から、まわりの人を大切にしようと意識して学校生活を送っている児童が多いことが分かります。特に、児童自身の肯定的な評価が高く、相手を思いやる行動を自分ごととして捉えている様子がうかがえます。今年度は、異学年交流をはじめ、自分や友だちの「性格の強み」について全校で考える取組を進めてきました。こうした学びの積み重ねが、より良い人間関係づくりにつながっていると考えます。

※グラフの凡例

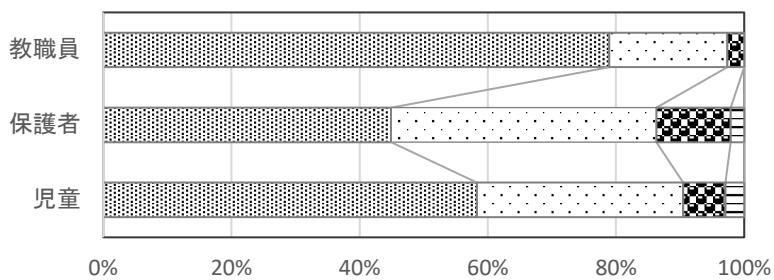
 とても思う  やや思う  あまり思わない  そう思わない

設問16 いじめにあって悩むことはなかった。



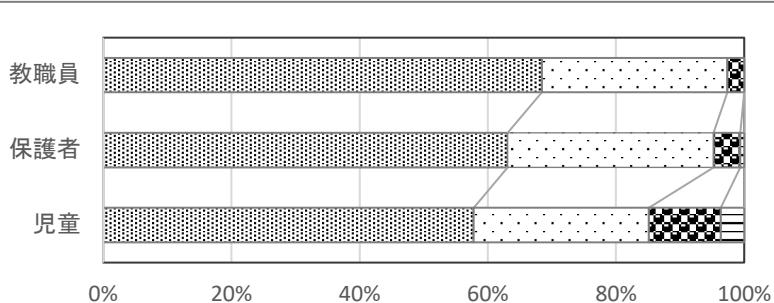
児童・保護者・教職員の回答から、多くの児童が安心して学校生活を送っている一方で、悩みを抱える児童がいることも分かります。学校では、日頃からの見守りや生活アンケート、担任やスクールカウンセラーによる相談体制を通して、児童の変化に早く気付けるよう努めてきました。今後も、いじめの未然防止と早期対応を大切にし、安心して過ごせる環境づくりを進めてまいります。

設問17 先生は、悩みを聞いたり、相談にのったりしてくれている。



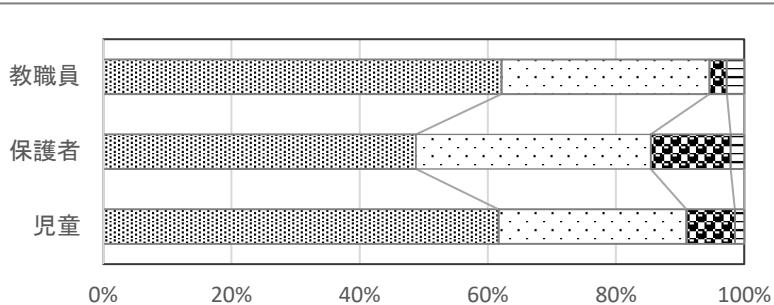
児童・保護者・教職員の回答から、多くの児童が先生に相談できていると感じている一方で、悩みをうまく伝えられずにいる児童がいることも分かります。学校では、担任を中心とした日常的な声かけに加え、スクールカウンセラーと連携し、相談しやすい環境づくりを進めてきました。今後も、児童一人一人の思いに寄り添い、安心して相談できる関係づくりを大切にしてまいります。

設問18 自分のことをよく理解してくれる先生がいる。



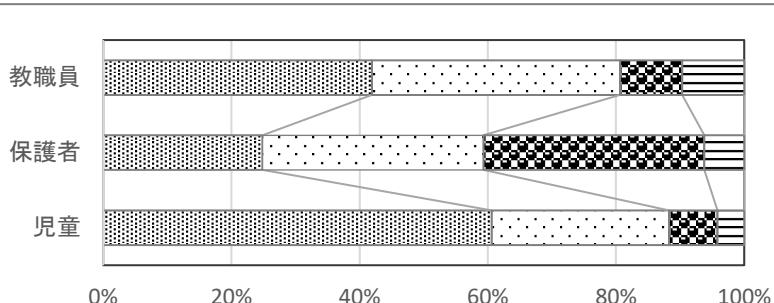
児童・保護者・教職員の回答から、自分のことを理解してくれる先生がいると感じている児童が多いことが分かります。日常的な声かけや関わりを通して、子どもたち一人一人の思いや背景を受け止めようとする教職員の姿勢が、安心感につながっていると考えます。今後も、担任を中心に関係職員が連携し、子どもたちが「分かってもらっている」と感じられる関係づくりを大切にしてまいります。

設問19 連絡アプリ・たより・ホームページなどで学校の様子はおおむね分かる。



児童・保護者・教職員の回答から、連絡アプリやたより、ホームページを通して、学校の様子が概ね伝わっていることが分かります。学校では、行事や日々の取組が分かりやすく伝わるよう、情報発信の工夫を続けてきました。今後も、内容や方法を見直しながら、家庭と学校がよりつながりを感じられる情報提供に努めてまいります。

設問20 携帯電話(スマートフォン)の使い方(時間・内容等)は適切である。(持っていない場合は答える必要はありません)



今年度は、様々な学年で、SNSによるトラブルが見られました。その都度、SNSの正しい使い方を指導しています。

今年度は、外部の専門家を招いてSNSに関するお話をしていただく機会を設けたり、定期的にSNSの正しい使い方について確認する場や機会をつくりました。今後も引き続き、児童の意識向上をさらに進めていきたいと考えています。

## —自由記述—

自由記述欄には、学校へのご意見やご要望など、さまざまな声をお寄せいただきました。いただいたご意見は数としては多くありませんが、一つ一つを大切に受け止め、全職員で共有しています。ここでは、寄せられたご意見の主な傾向と、それに対する学校の考え方や取組についてお知らせします。

### 【学校行事(やよいきずなフェス)について】

学校行事の在り方について、さまざまご意見をお寄せいただきました。  
今年度実施した「やよいきずなフェス」についても、従来の運動会とは異なる形であったことから、戸惑いやご意見が寄せられています。  
一方で、多くの児童や保護者からは、異学年で協力する姿や、子どもたち一人一人が役割を果たし、互いを応援し合う様子を肯定的に受け止める声が聞かれました。特に児童からは、本番だけでなく、準備や練習の期間においても、異学年で関わりながら楽しく充実した時間を過ごすことができたという声が多く寄せられています。こうした姿は、本校が大切にしている人とのつながりを育む教育が、確かな成果として表れているものと受け止めています。  
学校としては、こうした肯定的な受け止めを大切にしつつ、いただいたご意見を今後の改善に生かしながら、子どもたちの育ちにつながる行事として、やよいきずなフェスを継続して取り組んでまいります。

### 【学校生活全般・日々の取組について】

学校生活全般についても、さまざまご意見をお寄せいただきました。  
日々の学習や生活の中で感じられたことを具体的にお知らせいただいたことは、学校として大切な気付きとなっています。  
多くの児童や保護者からは、落ち着いた学校の雰囲気や、先生方が子ども一人一人に丁寧に関わっている様子について、肯定的に受け止める声も寄せられています。学校では、日常の積み重ねを大切にしながら、子どもたちが安心して過ごし、前向きに学校生活を送れるよう取り組んできました。  
今後も、いただいたご意見を一つ一つ受け止めながら、よりよい学校生活につながるよう、教育活動の充実に努めてまいります。

### 【学校からの情報発信・連携について】

学校からの情報発信や連絡の在り方についても、さまざまご意見をお寄せいただきました。  
連絡アプリやたより、ホームページなどを通した情報の伝え方について、より分かりやすさを求める声があることを、学校として受け止めています。  
一方で、多くの保護者からは、行事や学校生活の様子が分かりやすく伝わっているという声も寄せられています。  
学校では、日々の取組や子どもたちの姿が家庭に伝わるよう、内容や方法の工夫を重ねてきました。  
今後も、家庭との連携を大切にしながら、必要な情報が適切に届くよう、情報発信の充実に努めてまいります。

貴重なご意見をありがとうございました。  
今回いただきましたご意見を参考に、来年度の学校経営を進めて参ります。

アンケートへのご協力 ありがとうございました。